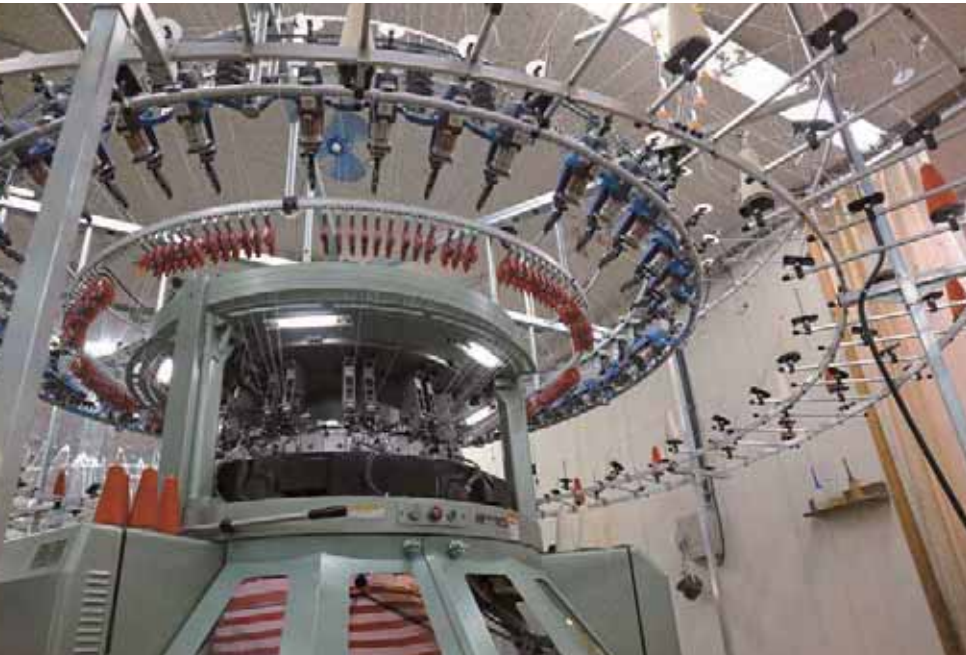


丸和ニット株式会社

両面ジャカード編機導入による企画力と技術力の強化

国内ニッターとしてグローバルな視野を持ち独自性を追求



補助事業

創業80年を超える実績と技術力を持って 稼働困難とされる特殊な編機を国内初で導入

伸縮性に優れ、多様なサイズにもフィットするニット。和歌山県はこのニットの一大産地であり、昭和9年に創業の「丸和ニット」は、メリヤスの中でも「丸編（まるあみ）」に特化した高い技術力と新しい発想力で、オリジナリティーのある商品を創り出している。

しかし近年、繊維製品の低価格化で海外生産へとシフトチェンジが加速する中、日本国内において丸編ニッターとしての「ものづくり」を持続し、生き残っていくためにも、独自性の強い編地を製造し、グローバルな視点で必要とされるメーカーに成長することが大命題となった。弱体化する国内繊維業界の生産基盤の中で事業を継続させるため、急務としたのが、自社の企画力と技術力の強化。さらに次世代の技術者の育成である。その一環として、国内随一の丸編機製造メーカー

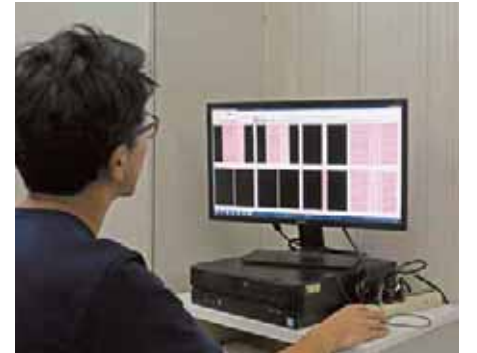
・福原精機製作所の「両面選針コンピュータジャカード編機」を導入することで、自社の編地企画力と国内ニッターとしての技術力を強化できると考えた。

導入したのは、両面選針コンピュータジャカード編機「V-LEC3DGT6型（34"14G 1496本）。編地の表裏両面にジャカード（柄編）を表現できる特殊な丸編機で、その特殊性ゆえに国内でも扱えるニッターの数は、ごくわずか。もともと同社は、従来よりコンピュータジャカード編機を編成する上で必要不可欠なデザインシステムと、それに精通するスタッフがいたこともあり、他社よりも優位に同タイプの編機を稼働することができると判断し、国内初の導入に踏み切った。

成果

技術者と販売担当者が一致団結して 超ハイスペックな編機の構造と生産性を研究

同編機の導入において、同社の技術開発責任者はもとより、若手の技術者を同行・同席させながら、社内研修のほか、福原精機製作所を訪問しての技術指導等を複数回にわたって実施。試行錯誤を繰り返しながら、高スペックな同編機の構造と生産性への理解を深めていった。それと同時に、営業販売面においても、技術者と販売担当者が連携し、開発した編地の特性やノウハウを共有することで、販売力と技術力の強化体制を構築。流行や販売先の情報などを参考に、同編機のハイスペックを生かしたアイデアを具現化することで、より複雑でオリジナリティーのある編地ができ、展開の幅が広がった。



今後の展開

より編地商品のグレードを上げる環境を構築 差別化を図り新規顧客の開拓・獲得を目指す

現在、両面ジャカード（柄編）の編地や、丸編でありながら横編（セーター編）のように見える編地、さらに同編機の「切替」機能を使ったピッチの大きいダブルニットなど、両面ジャカードの意匠性と切替機能に、技術者や販売担当者らのアイデアを加えることで、より編地商品のグレードを上げる環境が整った。しかし同編機は、使う人間の経験値と想像力で、まだまだ未知数の可能性を秘める。今後、クライアントからの要望のほか、販売ターゲットに見合う情報収集や編地づくりに力を入れ、他社との差別化を図りながら販売先の裾野を広げ、新規顧客の開拓・獲得を目指す。



自社ブランド「Bebrain」で Made in WAKAYAMA を国内外に発信

昭和9年創業。80年を超える実績と積み上げた技術力で、独自性の強い編地を開発・製造。中でも、世界で唯一同社だけが保有する編機「バランサーキュラー（商標登録済）」で編まれた編地は、ニット特有の伸縮性と軽量感が魅力の型崩れしにくい生地。この生地で立ち上げた自社ブランド「Bebrain」では、企画から製造・販売まで BtoC の業務展開で Made in WAKAYAMA のアイテムを国内外に発信する。



東京営業部
部長
辻 武志



丸和ニット株式会社

代表者／代表取締役 辻 博巳
設立／昭和26年（昭和9年創業）
資本金／2,500万円
従業員／60人
事業内容／丸編地の製造

〒641-0004 和歌山市和田1164
TEL.073-471-1231 FAX.073-471-1234
URL.<http://maruwa-knit.co.jp>